

世界の主な地震

令和2年（2020年）1月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

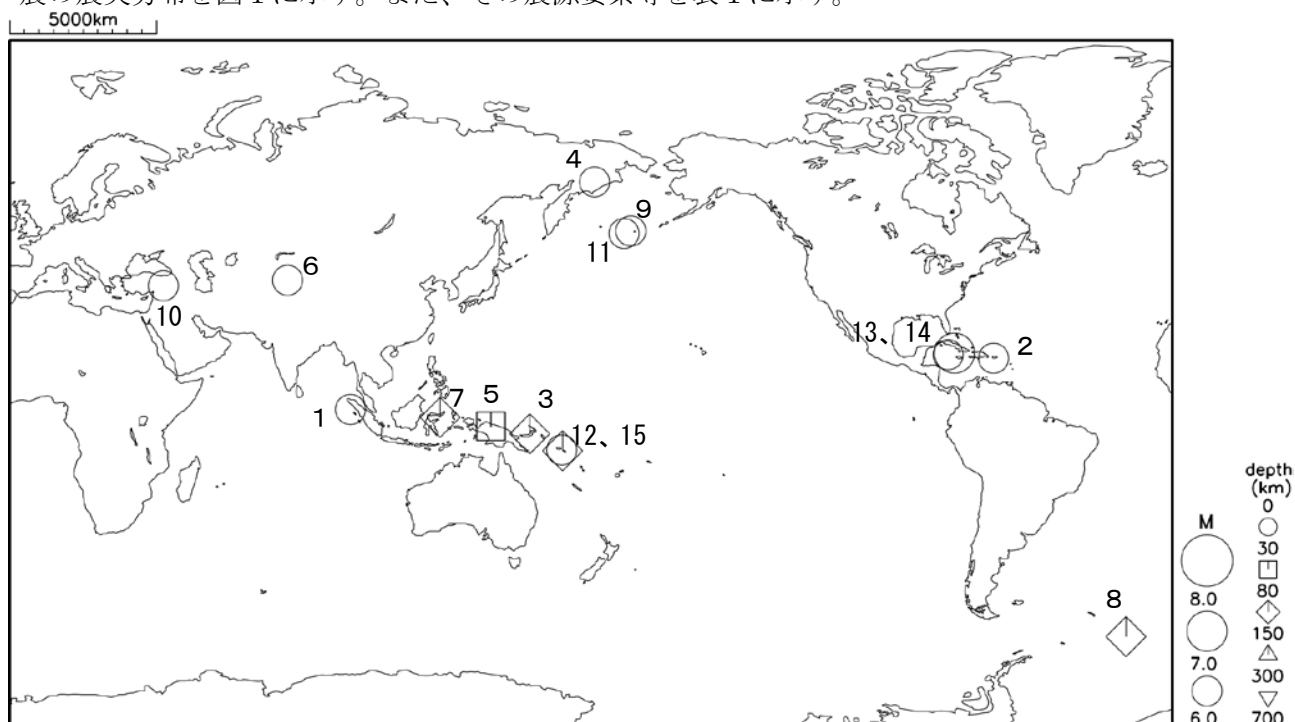


図1 令和2年（2020年）1月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和2年（2020年）1月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	07日15時05分	N 2° 20.0′	E 96° 20.8′	20			6.2	インドネシア、スマトラ北部			
2	07日17時24分	N17° 54.9′	W 66° 48.7′	10			6.4	プエルトリコ	死者1人など		
3	08日04時11分	S 5° 10.3′	E151° 14.1′	117			6.0	バブアニューギニア、ニューブリテン			
4	09日17時38分	N62° 21.4′	E171° 03.6′	10			6.4	ロシア、シベリア東部			
5	19日01時38分	S 2° 51.2′	E139° 20.0′	34			6.0	インドネシア、イリアンジャヤ北岸			
6	19日22時27分	N39° 50.1′	E 77° 06.5′	6			6.0	中国、シンチアンウイグル自治区南部	死者1人など		
7	20日01時58分	N 0° 06.2′	E123° 48.1′	122			6.1	インドネシア、スラウェシ、ミナハサ半島			
8	20日15時51分	S59° 14.0′	W 26° 16.4′	91			6.1	サウスサンドウィッチ諸島			
9	23日14時53分	N51° 55.1′	W177° 49.6′	10			6.2	アリューシャン列島アンドリアノフ諸島			
10	25日02時55分	N38° 23.3′	E 39° 04.8′	12			6.7	トルコ	死者41人など		
11	26日15時31分	N51° 20.7′	W179° 55.0′	27			6.1	アリューシャン列島アンドリアノフ諸島			
12	27日14時02分	S10° 06.3′	E161° 01.4′	18			6.3	ブーゲンビルーソロモン諸島			
13	29日04時10分	N19° 25.2′	W 78° 45.7′	15			(7.7)	キューバ			○
14	29日06時55分	N18° 56.7′	W 80° 42.8′	10			6.1	ホンジュラス北方			
15	29日22時49分	S10° 22.4′	E161° 16.8′	87			6.0	ブーゲンビルーソロモン諸島			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2020年2月2日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。

1月29日 キューバの地震

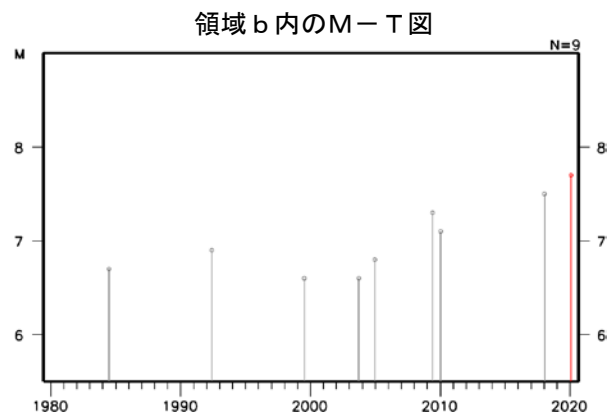
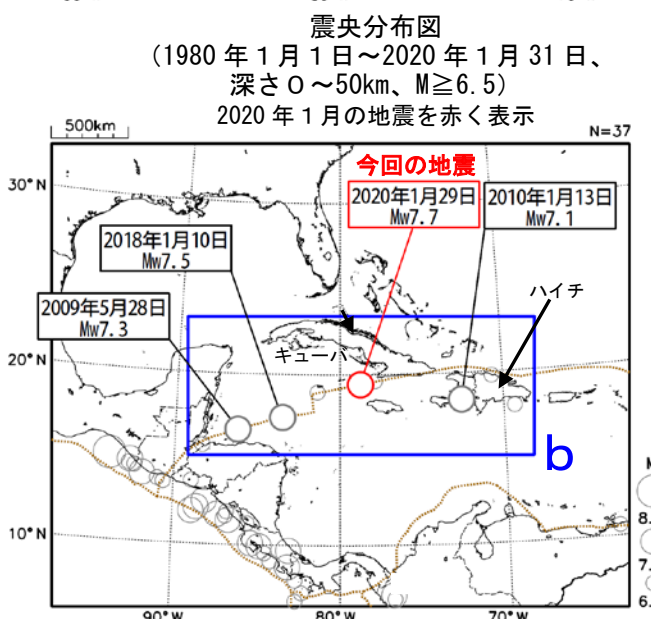
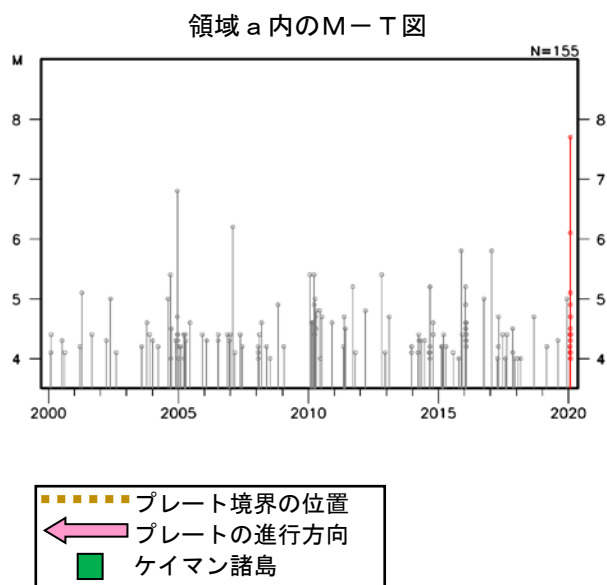
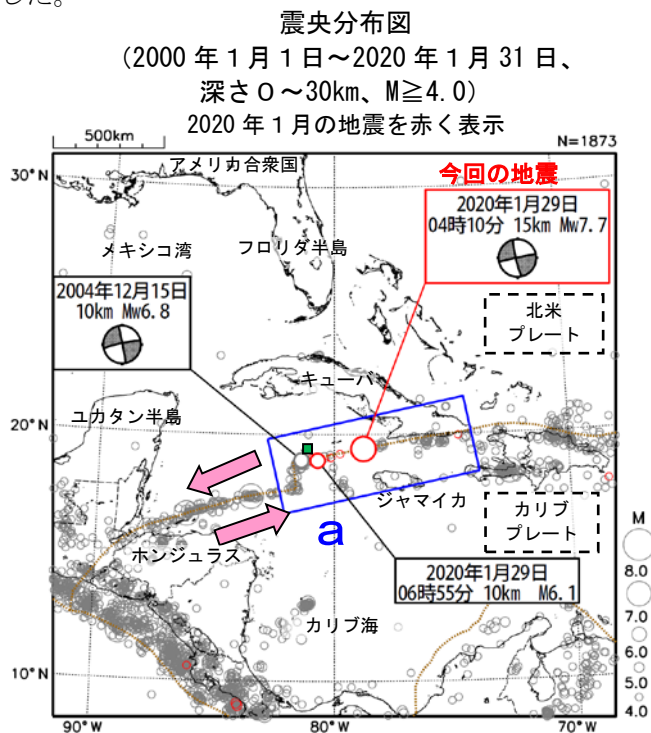
2020年1月29日04時10分（日本時間、以下同じ）にキューバの深さ10kmでMw7.7(Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード)の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が北西－東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、北米プレートとカリブプレートの境界で発生した。

気象庁は、この地震に対して、同日04時38分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震によりケイマン諸島（イギリス領）で0.11mの津波を観測した。

また、この地震の発生から約3時間後に約200km西方のホンジュラス北方の深さ10kmでM6.1の地震が発生した。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）で、2004年12月15日にMw6.8の地震が発生している。

1980年以降の活動をみると、ホンジュラス北方からハイチにかけての地域（領域b）では、M7.0以上の地震が4回発生している。2010年1月13日のMw7.1の地震では、ハイチで死者30万人以上の被害が生じた。



※本資料中、(上図) 今回の地震の発震機構と Mw は気象庁、2004年12月15日の地震の発震機構と Mw は Global CMT、その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2020年2月2日現在)。今回の地震の津波の高さは、米国海洋大気庁 (NOAA) による。
(下図) 図中の Mw は気象庁、その他の震源要素は USGS による。過去の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。
プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.